

市町村建設計画「緑あふれる新県都プラン」

# 平成19年度実施計画

平成19年6月

秋田市



## 目次

計画の概要	2
「まちづくり」別計画	
1 環境と調和し快適に暮らす緑豊かなまちづくり	3
2 豊かで夢と希望を持って生きる活力あるまちづくり	9
3 安心して健康に過ごす助け合いのまちづくり	12
4 可能性を伸ばし生きがいを持てる文化のまちづくり	15
5 自ら考え主体となって参加する開かれたまちづくり	16
進捗状況	18

---

## 計画の概要

---

### 1 策定の趣旨

新市の特性を最大限に活かしつつ、市域全体の均衡ある発展と速やかな一体性の確保と市民生活のさらなる向上をはかり、「しあわせ実感 緑の健康文化都市」を実現していくため、「緑あふれる新県都プラン」に示された施策を構成する個別の事業をまとめ、これを示すものです。

### 2 計画の期間

本計画の期間は、平成17年度から27年度までの11年間とし、前期6年（平成17年度～22年度）、後期5年（平成23年度～27年度）に区分しています。

### 3 計画の構成と対象事業

「緑あふれる新県都プラン」の5つの「まちづくり」にある施策ごとに、市が実施主体となって行う事業や市が費用負担・補助を行う政策的事業を掲載しています。

今回は、同プランに掲載する事業のうち、19年度当初に予算化された59事業について掲載しています。

### 4 計画の実効性と弾力性の確保

計画の推進にあたっては、社会経済状況や市民の行政需要、財政状況等の変化に適切に対応しながら進行管理を行い、計画の実効性と弾力性を確保することが必要です。このため、本計画は、毎年度の事業計画（予算編成）を踏まえて改訂を行っていきます。

---

## 「まちづくり」別計画

---

- 1 環境と調和し快適に暮らす緑豊かなまちづくり
- 2 豊かで夢と希望を持って生きる活力あるまちづくり
- 3 安心して健康にすごす助け合いのまちづくり
- 4 可能性を伸ばし生きがいを持てる文化のまちづくり
- 5 自ら考え主体となって参加する開かれたまちづくり

# 1 環境と調和し快適に暮らす緑豊かなまちづくり

## 第1節 土地利用計画と都市計画の推進

都市計画指導調査事業(基礎調査)	都市計画の決定、都市計画マスタープランの策定および区域区分の見直し等の基礎資料とするため、土地利用現況調査などの都市計画指導調査事業(基礎調査)を実施する。また、調査に先立ち、基図となる国土基本図(現況図)のうち更新が必要な河辺・雄和地区について、国土基本図および計画図を作成する。	河辺・雄和地域国土基本図および計画図を作成する。	45,000
------------------	---	--------------------------	--------

## 第2節 交通体系の整備

地方バス路線維持対策事業	生活バス路線は、日常の市民生活を支える移動手段として重要であることから、運行ニーズの高いバス路線については、バス事業者に対し運行にかかる経費の一部を補助し、市民の移動手段の確保をはかる。	国や県と協調のもと、バス事業者に対し運行にかかる経費の一部を補助し、市民の移動手段の確保をはかる。	397,799
バス交通総合改善事業	利用者が年々減少し、路線の維持が困難な状況となっている郊外部における不採算路線の委託運行を実施するとともに、新たな運行形態の確立も視野に入れ、地域特性や利用状況に応じた公共交通形態の再構築を行い、少子高齢社会にも対応した市民の移動手段の確保と充実をはかる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託運行負担金(秋田市マイタウン・バス西部線)</li> <li>・堀内、小友、下新城、上新城線、雄和循環バスの委託運行の開始</li> <li>・地域公共交通ネットワーク会議の立ち上げ</li> </ul>	32,760
総合交通体系調査事業	新秋田都市圏の交通環境実態調査を実施し、合併後の交通需要や地域間の結びつきなどの変化を把握するとともに、新市交通網マスタープランを含めた総合的な都市交通計画を策定する。この計画に基づき、新市における新たな都市計画道路の都市計画決定や長期未着手路線の見直しを行う。	総合都市交通計画および交通網マスタープランの策定、各種施策の提案を行う。	8,000

事業名	全体事業概要	19年度事業概要	H19当初予算 (単位:千円)
<b>第3節 道路網の整備</b>			
幹線道路整備事業 南部中央線	国道7号および13号の交通負荷を軽減し交通渋滞を緩和するとともに、河辺・雄和地域と本市南西地区を經由して市中心部とを結ぶ幹線道路として南部中央線を整備する。(茨島工区L=750m、W=20.0m) 建設計画分は茨島工区のみ	J R羽越本線の横断工事(H18-20)をJ R委託工事として実施し、南部中央線茨島工区の事業進捗をはかる。	820,458
幹線道路整備事業 割山南浜線	割山南浜線の茨島工区は、秋田大橋から雄物川と並行し割山地区を結ぶ都市計画道路であり、平成20年度供用予定である御所野ニュータウンから秋田大橋までの南部中央線とも連絡し、国道13号の渋滞対策にも効果を発揮するなど南部地区を東西に結ぶ重要な幹線道路である。国土交通省の水門改築計画と併せて、茨島工区のL=620mについて現況幅員W=10mをW=16mに整備する。	国土交通省が施行する新屋水門改築工事にあわせ、水門区間の道路改良工事を実施する。(平成19年度は測量を実施)	5,000
街路事業 土崎駅前線	J R土崎駅の交通結節点としての機能を十分に発揮させるとともに、鉄道交通の利便性向上をはかるため、駅前周辺の狭隘な道路を拡幅整備する。(土崎駅前線L=348mW=18m 駅前広場A=4,500㎡ H14～)	土崎駅周辺の狭隘な道路を拡幅整備するため、用地取得、補償、街路築造工事、駅前広場整備などを実施する。	389,000
道路改良事業 鹿野戸安養寺線	雄和椿川地内の主要地方道秋田雄和本荘線から県立中央公園、秋田空港などへ連絡する路線の急勾配、歪曲区間を解消するための道路改良工事を進める。L=1,150m,W=11m	路線の急勾配、歪曲区間を解消するための道路改良工事を行う。(現況調査・実施設計・用地測量)	15,000
県施行街路事業負担金(合併支援道路関連)	合併支援に資する県施行の街路事業に対し、整備費用の一部を負担する。	県施行街路事業に対し整備費用の一部を負担する。 秋田中央道路(H9-H19) 川尻広面線(寺町工区、H8-H21) 千秋広面線(H8-H23) 新屋土崎線(H15-H21) 秋田駅東中央線(H15-H19) 、の路線はH19完成予定。	614,280

事業名	全体事業概要	19年度事業概要	H19当初予算 (単位:千円)
冬みち安全安心対策除雪強化事業	平成18年度から21年度は、強化期間として、早期除雪、狭い道路の除排雪などに対応できる機種を計画的に増強・更新し、除排雪体制の充実をはかる。また、町内会などの地域団体と連携強化のための貸与機械(ハンドガイド式小型除雪機)等を購入する。	県払い下げ機械1台と、ハンドガイド除雪機を新規で3台購入する。	3,300

## 第4節 市街地の開発整備

秋田駅東西歩道橋(Weロード) 西側昇降口等整備事業	Weロードの自転車通行を可能とするため、まちづくり交付金を活用し、西側昇降口などの整備を行う。事業用地購入、地下埋設物移転補償、エレベーター設置工事、工事委託(斜路橋梁・上屋改修工事、既存内部改装、外構工事、自転車搬送コンベヤー設置・電気設備工事)	西側昇降口などの整備工事を委託する。(斜路橋梁・上屋改修工事)	181,000
中通一丁目地区市街地再開発事業	県の顔であり、高次集積都市の中核を担う市中心部のにぎわいを創出するため、中通一丁目地区市街地再開発事業の一環として、公共公益施設を整備する。	公共公益施設建設のための、基本設計と展示基本計画を作成する。	29,100
秋田駅東第三地区土地区画整理事業	秋田駅周辺にふさわしい街並みを形成するため、道路・公園などの都市基盤の整備と宅地の整序を行い、健全な市街地の形成をはかる。(地区面積45.5ha/事業施行期間 H5年度~/都市計画道路8路線 L=2,874m/公園整備7か所A=14,150㎡/区画道路100路線L=10,967m/建物移転1,097戸/特殊道路12路線L=428m)	都市計画道路3路線の一部、区画道路4路線の一部、特殊道路2路線を整備するとともに、建物26件の移転補償や用地の取得を行う。	1,218,000

事業名	全体事業概要	19年度事業概要	H19当初予算 (単位:千円)
秋田駅西北地区土地区画整理事業	本地区は駅前地区でありながら、商・住等が混在する低密度の土地利用となっている。このため、本事業によって道路・公園などの都市基盤施設の整備と敷地の整序を行い、駅東西間の一体化をはかるとともに、駅周辺にふさわしい良好かつ健全な市街地の形成をはかる。(地区面積 5.8ha/事業施行期間 H 6年度～/都市計画道路3路線L=821m/公園整備1か所A=1,736m <sup>2</sup> /区画道路11路線L=914m/建物移転63戸/特殊道路1路線L=37m)	建物4件の移転を補償する。	689,000
秋田駅東拠点地区土地区画整理事業	秋田駅周辺地区まちづくり総合支援事業の整備計画に基づき、都市機能の受皿となる基盤整備を行う。(地区面積 A=10.3ha 権利者数 56名 建物移転17戸 東口駅前広場 A=9,996.68m <sup>2</sup> 都市計画道路4路線L=1,065m 区画道路9路線L=893m 特殊道路2路線L=158m 公園2か所)	清算金の徴収を行う。	500
<b>第5節 住宅環境の整備</b>			
秋田市住宅マスタープラン推進事業等	「快適体感 しあわせ住まいづくり」を基本目標に掲げ、住宅のバリアフリー化、防災に配慮した住宅市街地の形成、良質な住宅ストックの形成、まちなか居住および雪との共生の5つを重点テーマにした施策の推進と施策を支える情報の提供を行う。	住宅のバリアフリーや住宅に関する情報を提供するほか、住生活基本計画の策定(新秋田市住宅マスタープランの見直し)にかかる準備を進める。	797
<b>第6節 上・下水道の整備</b>			
河辺地域浄水場施設改良事業	和田、松淵、俄沢の各浄水場の施設整備を行う。	松淵浄水場および七曲配水池計量室の防水改修などを行う。	14,500
河辺南部地区石綿セメント管更新事業	河辺地区に残存している石綿セメント管を更新することにより、同地区の安定給水を確保する。配水管布設替 200 L=2,955m	配水管の布設替えを行う。(200 L=344.8m)	16,821



事業名	全体事業概要	19年度事業概要	H19当初予算 (単位:千円)
仁井田・雄和送水施設整備事業	仁井田浄水場から雄和地域へ水道水を供給するための送水管布設ルートを精査し、雄和浄水場までの送水管を布設する。 送水管布設 250 L=12,080m(四ツ小屋～雄和浄水場) 200 L=11,260m(雄和浄水場～清水木浄水場) L=1,720m(雄和浄水場～高区配水場)	仁井田浄水場から雄和浄水場までの送水管布設のために、送水ルートなどの調査を行う。	25,000
公共下水道管渠建設事業(河辺地域)	汚水管整備を進め、水洗化の普及拡大をはかる。 (H19年度～H23年度総事業費592,500千円・汚水面整備 北野田、上和田地区他 A=25ha 事業費は管渠建設事業費の内数)	北野田地区など、5 haの汚水面整備を実施する。	112,500

## 第8節 環境の保全と新エネルギーの活用

### 自然環境保全経費

秋田市自然環境保全条例に基づき、市民などとの協働の推進や自然環境保全地区の指定および開発行為等への指導、助言により、自然環境を保全・回復・創出していく。

河辺・雄和両地域の自然環境現況の調査手法の検討や、自然環境保全地区の指定に向けた調査を行うとともに、自然環境の保全などを行っている市民活動を支援する。

1,207

## 第9節 資源循環システムの充実

### 不法投棄未然防止強化対策事業

廃棄物の不法投棄に対応するため、不法投棄多発地点に監視カメラ・告知看板を設置する。また、河川管理者、道路管理者などの関連機関と連絡会等を開催し、未然防止策についての情報交換などを行う。

不法投棄防止のための監視カメラなどの設置や、関係機関との連絡会開催などを行う。

1,136

### 家庭系ごみ分別推進事業(ごみ減量・分別井戸端会議)

分別や減量の必要性を理解し、各家庭において実践してもらうため、各地域においてごみに関する出前講座(ごみ減量・分別井戸端会議)を開催する。

各地域の市民団体を対象に、対話形式によるごみの減量・分別指導など(ごみ減量・分別井戸端会議)を行う。

100

事業名	全体事業概要	19年度事業概要	H19当初予算 (単位:千円)
<b>第10節 高度情報化への対応</b>			
固定資産税地理情報システム構築事業	航空写真撮影を行い、地番現況図・家屋現況図・地目現況図などの各種図面をデータベース化する。	航空写真の撮影や、写真図・地番・地目・家屋現況図を作成する。	106,538
合併関連コンピュータネットワーク整備事業	河辺・雄和地域の施設との接続にあたって適切な速度で稼働する行政情報ネットワークを整備する。	ネットワーク機器のリース料を支出する。	38,853
公共施設案内予約システム再構築事業	公共施設案内予約システムについて、河辺・雄和地域の施設を対象とし、かつ操作性を向上させるため、システムの再構築を行う。	システム維持のための利用料を支出する。	4,945

## 2 豊かで夢と希望を持って生きる活力あるまちづくり

### 第1節 商業・サービス業の振興

#### ハートぴあ秋田(産業フェア)事業

新秋田市の産業振興をはかるため、産業フェアを開催し、企業の交流や連携を進め、地元企業の創業・成長発展を促進する。(H17～H19、土日(祝日)の2日間にわたって開催。3年間の継続効果があるよう、各年度のテーマを設定する) ハートぴあ＝「ハート」と「ユートピア」の造語、ハート(心)をかよわし、ユートピア(理想的な社会)である秋田を創造する。

ハートぴあ秋田を開催する。  
テーマ：「飛躍・発展」 新アイデアや新技術を企業連携を利用した商品等の展示、秋田からの情報発信など

2,400

### 第2節 貿易の振興

#### 対岸経済交流事業

「秋田市貿易振興ビジョン2004」に基づく対岸経済交流の推進を目的に、新市誕生を契機とした陸・海・空の物流基盤の活用を探りながら、秋田ブランドの発信や新たな販路拡大をめざし、新市における市内企業の国際化と貿易の促進をはかる。今年度までの3カ年事業。

ウラジオストク市商談会や、対岸諸国のバイヤー招へいによる本市商談会を開催する。

2,341

事業名	全体事業概要	19年度事業概要	H19当初予算 (単位:千円)
<b>第3節 工業の振興</b>			
地域シーズ発掘活用事業	地域において有望な事業シーズを持ちつつも、事業の安定・成長を促進するため、経営手法などに指導・支援が必要と考えている事業者を公募により1者選考し、公募により選考した支援サポーターの手により事業者に対する支援プログラムの立案、プログラム実行時のフォローアップを行い、新たな地場産業としての定着と産業振興をはかる。	18年度作成した支援プログラムの実行をフォローアップする。	1,000
<b>第7節 農林水産業の振興と市場流通システムの整備</b>			
秋田市農林水産業振興戦略会議運営経費	「秋田市農林水産業振興戦略会議」において「秋田市農林水産業・農村振興基本計画」を策定し、計画の推進について審議・提言を行う。	戦略会議を開催し、「農林業・農村振興基本計画」の推進について審議・提言を行う。	275
土地利用型農業生産振興事業	基幹作物である水稲・大豆などの生産技術向上と担い手農家による集団的取組の推進および、地域農業の生産コスト低減をはかるための基幹施設・生産機械の計画的導入に対する助成を行う。	コンバイン、乾燥機、選別機などの導入に対する助成を行う。	8,579
スーパー農園整備事業(旧農業試験場跡地)	市民の多様なニーズに対応した区画・設備などを備えた質・量ともにグレードの高い市民農園を旧農業試験場跡地に整備し、この市民農園を核としながら農林業・農村地域の多様な資源を活かしつつ、グリーン・ツーリズムや農園活用生活スタイルの定着をはかる。	都市と農村間の交流の促進をはかるため、実施設計を行い、農園整備を進める。 (農園面積3.0ha・区画数240区画)	74,500
下北手中央農業集落排水事業	下北手中央地区農業集落排水について、管路工事、処理施設の整備を行う。	管路工事(L=1,150m)とマンホールポンプ11か所、処理施設の整備(建築,機械・電気、場内整備)を行う。	368,500

事業名	全体事業概要	19年度事業概要	H19当初予算 (単位:千円)
金足農業集落排水事業	金足地区農業集落排水について、管路工事、処理施設の整備を行う。 管路延長L=27,873m、処理施設一式	施設全体の実施設計を行う。	102,000
岩見農業集落排水事業	河辺岩見農業集落排水について、管路工事、処理施設の整備を行う。	管路工事(L=1,774m)とマンホールポンプ8か所、処理施設の整備(機械・電気、場内整備)を行う。	340,120
浄化槽整備推進事業	公共下水道および農業集落排水などの集合処理区域以外の個別処理区域を対象に、市が設置し維持管理まで行う浄化槽事業を実施し、快適な生活環境の確保と公共用水域の水質保全をはかる。平成18年度は、現況調査を実施し基本計画を策定、19年度から23年度まで、農業集落排水事業から整備手法を変更した神ヶ村・繋地区および鶉養地区を含め、およそ400基を整備する計画。	事業計画の調査(旧秋田市)や実施設計を行うとともに、浄化槽80基の設置や、放流施設整備などを進める。	111,440
県営経営体育成基盤整備事業	県が実施する土地改良施設等整備事業費の一部を市が負担する。(市負担金15%)	河辺大沢、河辺赤平、雄和種沢、雄和新波、雄和女米木、雄和銅屋、雄和左手子の各地区で行うほ場整備に対し、整備費の一部を負担する。	210,150
県営ため池等整備事業	県が実施する土地改良施設等整備事業費の一部を市が負担する。(市負担金:11.0~12.5%)	上北手猿田沢地区と金足片田地区へのため池整備費と、仁井田地区に設置する用排水施設の整備費の一部を負担する。	18,250

### 3 安心して健康にすごす助け合いのまちづくり

#### 第1節 地域福祉の推進

##### 高齢者プラン推進経費

将来必要となる高齢者福祉サービスの量を明らかにするとともに、サービス提供体制を計画的に整備することを目的とした高齢者プランを作成し、各種施策の推進をはかる。

高齢者のためのくらしのしおりを作成する。

630

##### 障害者プラン推進経費

将来必要となる障害福祉サービスの量を明らかにするとともに、サービス提供体制を計画的に整備することを目的とした障害者プランを作成し、各種施策の推進をはかる。

障害者のためのくらしのしおりを作成する。

1,000

##### 地域福祉計画推進経費

地域福祉計画は、本市の保健福祉長期計画「けやきのまちなしあわせプラン」の上位計画であり、地域福祉の推進によって、「公（公助）・共（共助）・私（自助）の責任と役割分担」をしながら、支えあい助けあいの社会の実現をめざす。

地域福祉推進事業（ワークショップなど）を実施するとともに、地域福祉計画の見直しにかかる準備を進める。

1,344

#### 第3節 障害者保健・福祉の充実

##### 身体・知的障害者交通費補助事業

身体・知的障害児（者）の社会参加促進のため、バス運賃を無料化する。また、在宅重度身体障害者の通院時タクシー代の一部を助成する。

バス運賃の無料化と、在宅重度身体障害者の通院時におけるタクシー代の一部助成を行う。

126,083

事業名	全体事業概要	19年度事業概要	H19当初予算 (単位:千円)
精神障害者交通費補助事業	精神障害者の継続的な通院と生活基盤の安定をはかるため、通院や通所する際に市内路線バスを利用する精神障害者保健福祉手帳所持者を対象に、福祉特別乗車証を発行し、バス運賃を無料化する。 また、地域活動支援センター（旧小規模作業所）や職親訓練事業所へ通所する際に上記のバス無料化事業の対象とならない交通費を要する者に対し、これを補助する。	バス運賃の無料化と、地域活動支援センターなどへの通所交通費に対する補助を行う。	7,873
<b>第4節 母子保健・児童福祉の充実</b>			
児童福祉施設等整備推進事業	老朽化した公立保育所などの入所児童の処遇改善をはかるため、大規模修繕などの施設整備および設備整備（通園バス更新）を行う。	岩見三内保育所の改築と、岩見三内および新波保育所のバスの更新を行う。	216,700
<b>第5節 保健体制の充実</b>			
健康あきた市21計画推進事業	広報、マスメディアおよびホームページなどを活用した啓発活動につとめるとともに、健康づくり運動を市民運動として定着させるため、健康づくりに関する情報提供や健康フォーラムの開催などにより、市民の健康づくりに対する意識の醸成をはかる。	計画に定める達成度の中間評価および必要に応じた計画目標の見直しを行う。また、「(仮称)健康あきた市21後期改定版」を策定する。	256
健康増進情報システム関係経費	健康増進情報システムに乳幼児健診、予防接種、健康診査などの受診結果等を入力し、個人データの経年的管理や各種集計を行う。また、健康情報を一元管理することにより、受診対象者の把握や未受診者への受診勧奨に活用するほか、基本健康診査の結果から、高脂血症や糖尿病、肥満等の各予防教室の対象者を抽出するなど、健診の事後指導に活用する。	・システムを活用し、地域住民の健康状況を経年的に把握し、保健指導の充実をはかるとともに、疾病の予防をはかる。 ・システムの維持管理、修正などを行うとともに、次期システムの検討と稼働準備（データ移行）を進める。	9,882

事業名	全体事業概要	19年度事業概要	H19当初予算 (単位:千円)
<b>第6節 衛生体制の充実</b>			
斎場改築事業	将来火葬需要への対応と施設・設備の老朽化にともない、斎場の改築を行う。	用地測量を実施するとともに、プロポーザルによる業者の選定を行う。	6,800
<b>第7節 医療・救急体制の充実</b>			
救急業務高度化推進事業(河辺・雄和)	救急需要の増加を踏まえ、高規格救急車の更新と救急救命士などの養成を計画的に推進するとともに、救急資機材などの整備充実につとめ、さらに応急手当の普及啓発事業を促進する。	救急隊員2名を養成する。	150
<b>第9節 消防力と防災体制の強化</b>			
消防水利整備事業(河辺・雄和)	消火栓の新設、移設と防火水槽の新設、修繕を行い、計画的に充足をめざす。	河辺地区の上水道本管の敷設にともない、消火栓の新設と旧管に設置された消火栓の撤去を実施する。 消火栓の新設10基、撤去12基	4,392



## 4 可能性を伸ばし生きがいを持てる文化のまちづくり

### 第1節 学校教育の充実

小・中学校増改築等事業(河辺)	老朽化が著しい校舎、体育館の改築を計画的に実施する。	岩見三内小の校舎・体育館の建設に関する計画を策定する。	255
小・中学校大規模改造事業(雄和)	経年により発生する学校建物の損耗、機能低下に対する復旧とともに、諸室の再配置などの大規模改造を行うことにより、教育環境の改善をはかる。あわせて建物の耐震性および耐久性の確保をはかる。	大正寺小学校の環境整備を進める。	69,000
小・中学校情報教育環境整備事業(雄和)	雄和地域における小・中学校の情報教育環境を改善するため、教育用コンピュータなどを更新する。	教育用コンピュータなど整備する。	3,477

## 5 自ら考え主体となって参加する開かれたまちづくり

### 第6節 行政改革の推進と行政能力の強化

第11次秋田市総合計画推進事業	平成19年度の計画年度当初から、市民理解につとめるため、わかりやすい解説資料を作成し、PR活動を展開する。その後、計画的かつ効率的な市政運営のため、市民ニーズの把握と行政評価による客観的・合理的な施策の選択を基本として、3年ごとに秋田市総合計画の期間計画を改定する。	第11次秋田市総合計画の概要版を作成する。	982
秋田市庁舎新築事業	新庁舎の建設について、現庁舎の法定耐用年数が到来する平成26年度を竣工目標として検討を進める。	基本構想検討のための庁内組織を設置する。	300
(仮称)西部地域市民サービスセンター整備事業	住民自治の充実をめざす市民協働と都市内地域分権の拠点施設の一つとして、(仮称)西部地域市民サービスセンターを、支所、公民館などの公共施設の複合化をはかり、総合的に整備する。	事前の家屋調査を行うとともに、バス仮案内所設置、バス駐車場舗装工事、解体工事、杭工事、建設工事の一部などを行う。	99,200
(仮称)北部地域市民サービスセンター整備事業	住民自治の充実をめざす市民協働と都市内地域分権の拠点施設の一つとして、(仮称)北部地域市民サービスセンターを、支所、公民館などの公共施設の複合化をはかり、総合的に整備する。	施設整備に向けた建設基本計画の策定と、地域との協議・調整を行う。	8,200

事業名	全体事業概要	19年度事業概要	H19当初予算 (単位:千円)
電子入札運営事業	入札制度の公平性、透明性の向上をはかるため、平成16年度に導入した電子入札システムを運用する。電子入札においては、インターネット上で入札情報の提供や指名業者への通知、業者の入札書の提出や業者登録の申請などを行うとともに、入札結果を自動的に開札し公表する。	次期システムの内容を検討する。	28,689
戸籍事務電算化経費	本庁、土崎支所、新屋支所および河辺・雄和市民センターにおいて、和紙原本などで保管している戸籍をすべてデータベース化し(現在戸籍は文字入力、除籍はイメージ入力)、コンピュータにより管理・運用する。	現在戸籍や除籍、原戸籍、附票のデータをセットアップする。	26,450
緑あふれるまちづくり基金積立金	合併後の本市における市民の連携の強化および地域振興のため、当該基金を平成17年度に造成する。18年度以降は運用益を積み立てる。	基金の運用益を積み立てる。	6,000
		全事業の事業費計	6,627,812

## 進捗状況

	事業数	事業費
「緑あふれる新県都プラン」に掲載する主要事業	119	950億円( 1)
19年度実施計画	59	66億2,781万2千円
(再掲：河辺地域関係事業)	(8)	(7億 543万8千円)
(再掲：雄和地域関係事業)	(6)	(1億1,701万9千円)
参考		
18年度実施事業(うち終了事業7)	(62)	(64億6,198万4千円)

1 「緑あふれる新県都プラン」策定時の財政計画における平成17年度～27年度の事業費の合計金額であり、各年度の事業計画の決定状況によって変動します。

19年度末現在の進捗状況は、事業数ベースでの着手率は66%、事業費ベースでは26%になります(いずれも参考値です)。